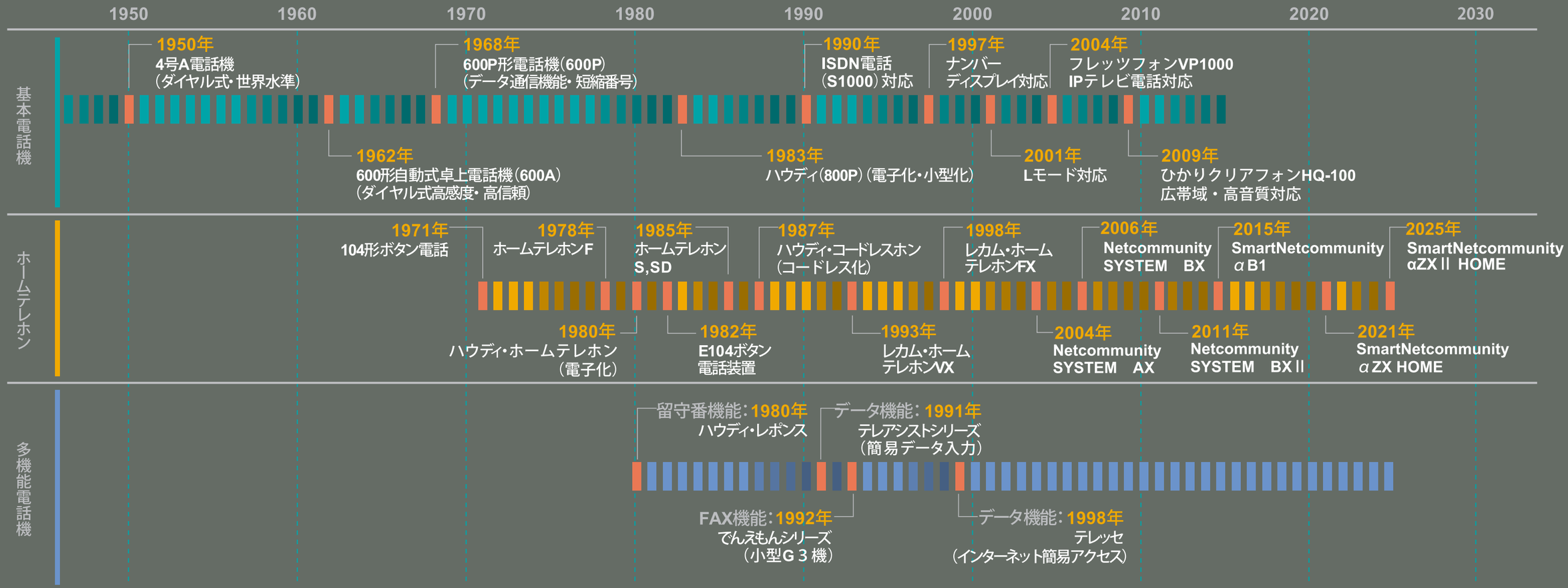
家庭用電話機の進歩


1950
1960
1970
1980
1990
2000
2010
2020
2030
基本電話機
1950年
4号A電話機
（ダイヤル式・世界水準）
1962年
600形自動式卓上電話機（600A）
（ダイヤル式高感度・高信頼）
1968年
600P形電話機（600P）
（データ通信機能・短縮番号）
1983年
ハウディ（800P）（電子化・小型化）
1990年
ISDN電話
（S1000）対応
1997年
ナンバー
ディスプレイ対応
2001年
Lモード対応
2004年
フレッツフォンVP1000
IPテレビ電話対応
2009年
ひかりクリアフォンHQ-100
広帯域・高音質対応
ホームテレホン
1971年
104形ボタン電話
1978年
ホームテレホンF
1980年
ハウディ・ホームテレホン
（電子化）
1982年
E104ボタン
電話装置
1985年
ホームテレホン
S,SD
1987年
ハウディ・コードレスホン
（コードレス化）
1993年
レカム・ホーム
テレホンVX
1998年
レカム・ホーム
テレホンFX
2004年
Netcommunity
SYSTEM AX
2006年
Netcommunity
SYSTEM BX
2011年
Netcommunity
SYSTEM BXII
2015年
SmartNetcommunity
αB1
2021年
SmartNetcommunity
αZX HOME
2025年
SmartNetcommunity
αZXII HOME
多機能電話機
留守番機能：1980年
ハウディ・レボンス
データ機能：1991年
テレアシストシリーズ
（簡易データ入力）
FAX機能：1992年
でんえもんシリーズ
（小型G３機）
データ機能：1998年
テレッセ
（インターネット簡易アクセス）